

鎌倉交響楽団

'93ニューイヤーコンサート

指揮 古谷誠一

司会 永井邦子



日時／1月30日(土) 午後3時開演

会場／鎌倉市中央公民館分館

後援／鎌倉市

プログラム

歌劇『友人フリッツ』より間奏曲 P. マスカーニ

歌劇『タイース』より冥想曲 J. マスネ

ヴァイオリン独奏／松野美智子

バレエ『くるみ割り人形』組曲 P. チャイコフスキー

休憩

インスタントコンダクターのコーナー 曲『?』

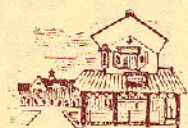
喜歌劇『こうもり』より序曲 J. シュトラウスII

ワルツ『ウィーン気質』 J. シュトラウスII

ワルツ『朝の新聞』 J. シュトラウスII

ワルツ『皇帝円舞曲』 J. シュトラウスII

鎌倉の駅を通過して
道すがら
若宮大路の左角
『酒まん処』ここに有り
TEL. 0467-22-0666



松風堂本座

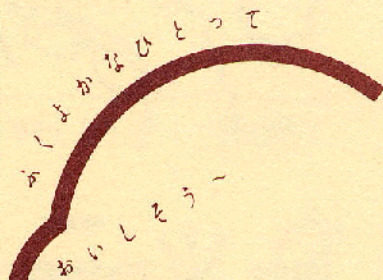
鎌倉市小町1-5-24
☎ 0467-22-0666



珈琲・洋菓子

177

小町通り (22) 2689
(22) 8963



市役所通りのパン屋さん
リトルマーメイド
TEL. 25-5025

曲目紹介

■歌劇『友人フリッツ』より間奏曲

P. マスカーニ (1863—1945)

独身主義者で大金持ちのフリッツは友人の司祭と、結婚しないという賭けをして、自分の葡萄園をこれに賭けますが、村の美しい娘スーゼルに恋をしてしまいます。結局、賭けには負けましたが美しい娘と結ばれ、司祭も葡萄園をスーゼルのものとして、皆から祝福を受けるというハッピーエンドの物語です。

■歌劇『タイース』より冥想曲

J. マスネ (1842—1912)

古代エジプトに享楽の生活をおくる美女タイースは、若い修道僧の教えにより信仰に心のやすらぎを見だし、一方、修道僧はタイースの美しさに魅せられてしまうという物語です。ヴァイオリンを弾く人にとっては、とても身近な目標とする名曲です。

■バレエ『くるみ割り人形』組曲 作品71a

P. チャイコフスキー (1840—1893)

ドイツの片田舎のクリスマスの夜、少女クララはマイヤー叔父さんからくるみ割り人形をプレゼントされます。その夜のクララは、お菓子の国へ招待されお菓子の精たちが歓迎の踊りを繰り広げるといふ素敵な夢を見ます。

1. 小序曲

2. 特徴のある舞曲集 (ディヴェルティスマン)

- a. 行進曲 / 子供たちの行進
- b. 金米糖の踊り
- c. ロシアの踊り (トレパーク) / チョコレートの精の踊り
- d. アラビアの踊り / コーヒーの精の踊り
- e. 中国の踊り / ジャスミンのお茶の精の踊り
- f. 草笛の踊り / アーモンドの精の踊り

3. 花のワルツ

フランス料理



小町園

横須賀線下馬ガード脇
TEL. (22) 2370

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2
(やのやビルB1)
TEL.(0467)22-4105
茅ヶ崎市中海岸1-1-58
(大層ビル1F)
TEL.(0467)87-1145



(新)遠近両用
累進多焦点レンズ
各社取扱

●コンタクト用
(ソフト・ハードケース)取扱
(クリーナー・保存液)

optical・shop
KAMAKURA
森川眼鏡店
☎(22)2964

後半はワルツ王として有名なヨハン・シュトラウスII世の作品から、ウィーンの香り豊かな曲、一度は聴いたことのある曲、春の香りのするような楽しい曲をとりあげました。

■喜歌劇『こうもり』より序曲 作品362 J.シュトラウスII (1825-1899)

仮面舞踏会の夜、お金持ちのアイゼンシュタイン氏は、こうもりに扮装して酔いつぶれてしまった友人のファルケ博士を置きざりにしてしまい、ファルケ博士には「こうもり」というあだ名がついてしまいました。ファルケ博士はなんとか仕返しをしようとして、茶番劇をしかけます。物語は扮装した仮面舞踏会、茶番劇、監獄とドンドンややかしくなってしまうのですが、最後には「すべてシャンペンが悪いのだ」ということで幕を閉じる、なんとも屈託のないオペレッタです。

■ワルツ『ウィーン気質』 作品354

「のんきで、ユーモアとウィットにとみ、ちょっと移り気で、芸術を愛し、ロマンティストで人生を楽しむ」というウィーンっ子気質をそのままワルツにした曲です。よく耳にする名曲ですが、作曲の経緯などは実は明らかになっていません。「まあ、いいでしょ、そんな細かいことは」とでもいわれそうな明るい曲です。

■ワルツ『朝の新聞』 作品279

1864年の春、ウィーンを訪れたオッフエンバックは彼の作品に好意的なウィーンの新報に感謝し、ジャーナリスト協会主催の舞踏会のためにワルツ「夕刊」を献曲しました。話題作りの好きなジャーナリストたちが依頼して作曲されたのがこの「朝の新聞」です。

■ワルツ『皇帝円舞曲』 作品437

まさにワルツの皇帝と呼ぶにふさわしく堂々としたこの曲は、かつて、皇帝フランツ・ヨーゼフI世即位40周年の記念祝典のために作曲されたといわれていましたが、どうやら、それは作品434で、この作品ではないようです。まことに珍しいことに、これほどの大曲が誰にも献呈されていないのです。本当は自分のために秘かに捧げていたのかどうかはナゾのままです。

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

芋川耳鼻咽喉科クリニック

鎌倉・小町壺番館ビル3階

電話 (24)7273